

■合同チーム及ばず。初戦は室蘭工業大が快勝

第48回北海道学生選手権は第2日の9月4日、帯広畜産大グラウンドで2部の連盟指名試合として、室蘭工業大と北海道科学大・北海道医療大・札幌学院大・札幌大の合同チームが対戦し、室蘭工業大が25-0で勝利した。合同チームは、部員不足で単独チームを編成できない大学にも試合機会を提供するために結成。道学生選手権には初めて登場した。第3節の11日は、札幌市円山競技場で北海学園大-北星学園大、北海道大-東京農業大の2試合を行う。

試合は第1Q6分、室蘭工業大のDE船木翔斗（2年、札幌清田高）が合同チームのQBをエンドゾーン内でタックルし、セーフティーで先制した。第2Q1分にはRB富樫司（2年、札幌清田高）がダイブで3ヤードのTDラン。直後の合同チームの攻撃でDB佐藤圭（3年、大分・豊富高）がパントブロックをエンドゾーンで押さえ、前半を16-0で折り返した。室蘭工業大は第4Qにも、DE船木が好タックルで再びセーフティーを奪い、試合終了間際にはRB富樫が9ヤードランで、この試合2本目のTDを決めた。



合同チームは第3Qに北海道科学大のQB広島拳（2年、札幌工業高）が北海道科学大のWR藤川拓斗（2年、浦河高）にパスを決め、第4Qには札幌学院大のQB杉野太一が札幌学院大のWR佐藤寛太（2年、北見商業高）にパスをつないでダウンを更新するのが精一杯だった。



室蘭工業大の半沢伸太郎監督は「12人ぎりぎりだったが、春に練習したことを出せた」と選手たちをたたえた。2年目で初のTDを挙げたRB富樫は「ラインの勢いで穴を狙った。今日はパワーでいった」と胸を張り、初先発のQB鎌倉佑太（1年、札幌開成中等学校）は「緊張せずに練習通りにできた」と満足げだった。好タックルで4得点を挙げたDE船木は「QBをずっと狙っていた。思い切りラッシュした」と声を弾ませた。

一方、合同チームの指揮を執った札幌学院大の佐藤敏弘ヘッドコーチは「当たることなど基本的な部分を見直したい。選手たちには、実戦経験を今後にかかしてほしい」と課題と収穫を挙げ、先発QBの北海道科学大の広島は「22日の第2戦ではパスも中央のランもがんがん通したい」と巻き返しを誓っていた。